



one-pass

## 無線綴じ製本ライン

### 責任品質

自社で責任を持って全工程作業するため、品質の高い仕上がりを保証できます。

無線綴じ製本ライン CABS5000

## ワンパスという優位性

無線綴じは、当社で多く取り扱うマニュアルなどによくみられるタイプの製本です。このラインを導入したことで、トヨインは冊子をメインとして取り扱う会社としてのアイデンティティと自信を確固たるものにしたといえるでしょう。

また、社内ですべての工程が完結することで、工程の隅々にわたってトヨイン品質を求めることができます。

制作段階での疑問も、製本のプロに直接話を聞けるためすぐに解消でき、トータル印刷会社として着実に成長しています。



### 立体倉庫

高さを有効利用して縦6段、奥行き9列と10列の2連構造に114パレットを収納。生産管理課のコンピュータで一括管理され、効率的な製品の保管、入出庫が可能です。一番奥の最上部のパレットも、90秒で呼び出せます。

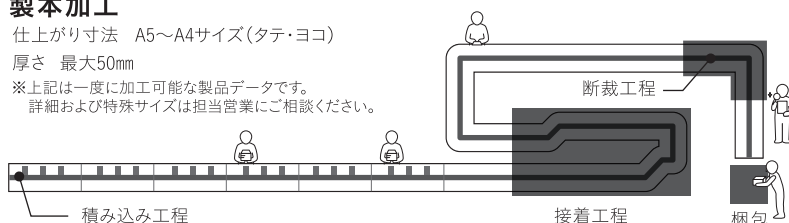


### 製本加工

仕上がり寸法 A5~A4サイズ(タテ・ヨコ)

厚さ 最大50mm

※上記は一度に加工可能な製品データです。詳細および特殊サイズは担当営業にご相談ください。





# 一致協力

中心の軸はジョブの流れ。  
仕事が滞りなくスムーズに進むよう、  
流れを調整し、管理する。  
全社一丸となって作り上げた製品は  
一人一人の誇りとともにお客さまへ。

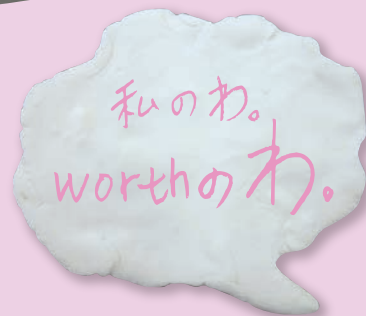
## 一括管理で迅速対応

デザインレイアウトから製本加工まで、印刷の工程は複雑多岐にわたり、スケジュール組みや資材の調達など、細かい調整がスムーズなオペレーションの鍵となります。ひとつひとつの仕事は総合管理システムソフトによって管理され、総務、営業、そして生産管理が同じ情報を共有しているので、より効率的な業務のための変更にも臨機応変に対応できる柔軟性を獲得しました。



## 最終工程を担う責任

品質は良くてあたりまえ。普通のものを作っているには取り残されてしまいます。そんな中、加工においてもお客さまにお褒めをいただくような技術を持つスタッフも育ってきました。ハード面でもこの印刷会社にも引けを取らないと自負する当社。今後とも人材の教育、育成にも力を注ぎ、より地域のみなさまのためにお役にたてる企業として信頼いただけるよう、努力を続けてまいります。



製本課は忙しいときとそうでないときの波が激しい部署です。ラインのほかにも折り機や断裁機などさまざまな機械がたくさんあるので、仕事の立て込んでいないときには念入りにメンテナンスをします。忙しい日には人手が足りないくらいなので、そんな時に機械が止まったり故障したりしては一大事ですからね。スタッフ一人一人の能力を育てることに力を入れて生産性を上げ、価値ある製品を生み出していきたいと思えます。

製本課  
杉浦 正志

